

吹きだめ柵



吹きだめ柵とは、道路上の吹溜りや視程障害を防止するために、雪を補足し、人工的に道路手前に吹溜りを作る柵のことをいいます。

飛雪の流れの中に障害物があると、その前後に吹溜りができ、風下へ移動する雪の量が減少します。柵は道路から離れた位置に設置されます。



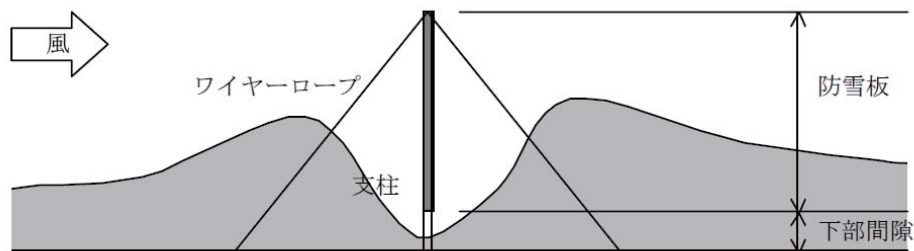
①吹きだめ柵



②柵による吹溜り状況



③天然木を用いた吹きだめ柵



④吹きだめ柵の構造

※出典：①②③「雪道～今日の道路雪氷対策～」(公益社団法人雪センター) ④北海道開発局資料